



## 水遊びには監視者 ー こどもから目を離さない

### 徹底した安全対策



#### 監視体制の確立

監視者が監視に専念できる  
体制作り



#### 緊急時への対応

心肺蘇生法・AED 操作研修  
緊急時の応援体制の確立  
(シミュレーション研修)



#### 乳幼児の特性とリスク

10 cmの深さでも溺れること  
がある  
～こどもは静かに溺れる～

**★安全を最優先に考え、  
十分な監視体制が確保できない場合は、プール活動を中止する！**

●監視体制の空白が生じないように**監視を行う者**と  
**プール指導を行う者**を分けて配置する



### 監視者とは

プールサイドのこども達と遊んだり  
プール指導者の補助をしたりせず、  
**監視に専念する者**

**○話しかけない ○頼まない**

★



「監視者」の目印等  
を決める

- ・ビブス
- ・タスキ
- ・キャップなど

### 役割

- プールサイドからプール全域（水面と水の中）をくまなく監視する
- プールに参加しているこどもの人数を把握し、確認を適宜行う
- 動かないこどもや不自然な動きをしているこどもを見つける
- 特定のこどもに目線を固定せず、個々の特性を理解し、規則的に目線を動かしながら  
全体を監視する 異常かどうかの見極めは、顔（特に目）を見る
- 持ち場を離れる時は、代わりの職員を配置する
- こどもが全員プールからあがるまで目を離さない

## チェックポイント①

### 1. 事前管理

- ★ ☐ 監視者は配置できるか
  - ☐ 水遊び（プール遊び）のマニュアルの確認
  - ☐ 慢性疾患等の配慮を必要とするこどもへの対応の確認
  - ☐ 当日プール活動ができないこどもへの対応の確認
  - ☐ 排泄が自立していないこどもへの対応の確認
  - ☐ プールに入る人数の確認（人口密度を少なくする）

## チェックポイント②

### 2. 気象情報による活動実施の判断

- ★ ☐ プール遊びができる環境か
- ＜判断基準＞
- 水温＋気温＝50度未満又は65度以上
  - 暑さ指数31以上
  - 光化学スモッグ警報発令のとき
  - PM2.5の注意喚起のとき
  - 雨天、強風、雷

★

#### ひとつでも当てはまる場合、 プール遊びは中止とする

暑さ指数31以上は、「運動は原則禁止」とされているため。  
水遊び・シャワーなどについては  
各施設で判断する

#### ★【運動に関する指針】

（公財）日本スポーツ協会  
「スポーツ活動中の熱中症予防ガイド  
ブック」（2019）より

暑さ指数は、環境省 熱中症予防  
情報サイトで確認することがで  
きます。時刻とともに変化するの  
で、こまめに確認しましょう。

熱中症予防情報サイト  
＞ 全国の暑さ指数  
＞ 北陸地方 新潟県 新潟  
＞ 暑さ指数の実況と予測

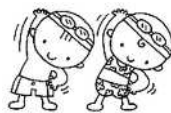
気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温 が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水 分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に 水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は 必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので 注意。

## チェックポイント③

### 3. 環境の整備

- ☐ 日よけ対策は行っているか
- ☐ プールの破損・亀裂はないか
- ☐ 石やガラス等の危険物、鳥の糞はないか
- ☐ プールサイドは滑りやすくなっていないか
- ☐ 排水溝の安全対策は行ったか
- ☐ プールの清掃と整理は行ったか
- ☐ プライバシーへの配慮は行っているか
- ☐ 監視場所に死角はないか
- ☐ 心肺蘇生法・AED 操作や緊急時対応のフロー  
チャートをプール付近で確認できるか

## チェックポイント④



## チェックポイント⑤

### 4. 活動前の確認

#### プール

- ☐ プールの環境は適切か
- ☐ 水深は年齢に応じて調整できているか
- ☐ 適正な遊離残留塩素濃度になっているか  
(遊離残留塩素濃度 0.4~1.0 mg/L)
- ☐ ゴミや窒息の危険のある玩具はないか

#### こども

- ☐ 体温・顔色・機嫌・便の状態どうか
- ☐ 目やに・充血・鼻水・発疹等はないか
- ☐ 傷はないか(出血、化膿はしていないか)
- ☐ 絆創膏や湿布を貼っていないか
- ☐ 水分補給は適切に行っているか
- ☐ 帽子を着用しているか
- ☐ 準備運動を行ったか
- ☐ シャワーで適切に体を洗ったか
- ☐ おしりに排せつ物が残っていないか

#### 職員

- ☐ こどもへの安全指導は行ったか
- ☐ 職員の健康状態はどうか
- ☐ 職員の役割分担は決まっているか
- ☐ 人数を監視者に伝えたか

### 5. 準備物の用意

- ☐ 塩素剤
- ☐ 残留塩素測定器・試薬
- ☐ 気温計・水温計
- ☐ プール日誌
- ☐ 時計・携帯電話
- ☐ 救急用具(応急手当セット、毛布、バスタオル、笛等)
- ☐ AED は近くにあるか

こどもの手の届かない位置に保管

## チェックポイント⑥

### 6. 活動中の確認

- ☐ 遊離残留塩素濃度を 30 分ごとに測定しているか
- ☐ 健康状態(顔色や身体の様子)はどうか
- ☐ 監視者はプール全域をくまなく監視しているか
- ☐ こどもの人数を把握できているか



## チェックポイント⑦

### 7. 活動後の確認

- ☐ ケガはないか
- ☐ 健康状態はどうか
- ☐ シャワーで体を洗ったか
- ☐ 体をしっかり拭いたか
- ☐ うがいをしたか
- ☐ 水分補給をしたか
- ☐ 保育室の室温は適切か
- ☐ 速やかにプールの水を排水し、こどもが入れない対策をとっているか



- ☐ プール日誌に記録をしたか

プール日誌				
年 月 日 (曜日)	天気			
利用時間	時 分	時 分	時 分	時 分
クラス名				
入浴人数	人	人	人	人
気 温	℃	℃	℃	℃
水 温	℃	℃	℃	℃
残留塩素測定 プール池が開放後の値	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
消毒剤追加時間	時 分	時 分	時 分	時 分
消毒剤追加後の値	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
監視者名				
備考				